

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2008-291383

(P2008-291383A)

(43) 公開日 平成20年12月4日(2008.12.4)

(51) Int.Cl.

A 4 1 G 1/00 (2006.01)

F I

A 4 1 G 1/00

テーマコード (参考)

V

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 9 頁)

(21) 出願番号 特願2007-137651 (P2007-137651)
 (22) 出願日 平成19年5月24日 (2007. 5. 24)

(71) 出願人 393022609
 杉野 宣雄
 神奈川県横浜市西区高島2-5-1 O ス
 トーク菱沼7 F 花と緑の研究所内
 (74) 代理人 100080838
 弁理士 三浦 光康
 (72) 発明者 杉野 宣雄
 神奈川県横浜市西区高島2-5-1 O スト
 ーク菱沼7 F 花と緑の研究所内

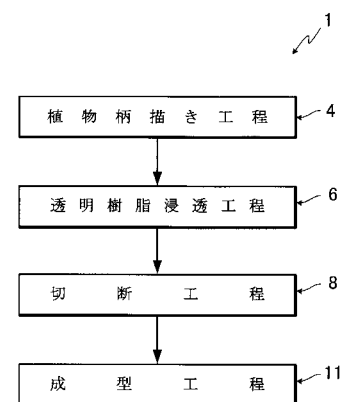
(54) 【発明の名称】 造花の作り方

(57) 【要約】

【課題】 本発明は転写あるいは染められた植物柄を簡単に曲げたり伸ばしたりでき、より自然に近い形状の葉や花弁に、簡単な作業で誰でもが容易に成型することができる造花の作り方を得るにある。

【解決手段】 柔軟性のある不織紙、不織布等の不織シート材に植物柄を印刷や転写、描いたり染めたり、あるいは押し花を貼り付けて描く等のいずれかで描く植物柄描き工程と、この植物柄描き工程後に植物柄が描かれた不織シート材に酢酸ビニールやアクリル等の透明液体樹脂を浸透させて乾燥させる透明樹脂浸透工程と、植物柄描き工程後に不織シート材の植物柄の輪郭形状に切断あるいは透明樹脂浸透工程後に透明樹脂が浸透された不織シート材の植物柄の輪郭形状に切断して植物柄シートにする切断工程と、この切断工程と前記透明樹脂浸透工程を経て該切断工程で形成された植物柄シートを曲げて、立体的な葉や花弁に成型する成型工程とで造花の作り方を構成している。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

柔軟性のある不織紙、不織布等の不織シート材に植物柄を印刷や転写、描いたり染めたり、あるいは押し花を貼り付けて描く等のいずれかで描く植物柄描き工程と、この植物柄描き工程後に植物柄が描かれた不織シート材に酢酸ビニールやアクリル等の透明液体樹脂を浸透させて乾燥させる透明樹脂浸透工程と、前記植物柄描き工程後に不織シート材の植物柄の輪郭形状に切断あるいは前記透明樹脂浸透工程後に透明樹脂が浸透された不織シート材の植物柄の輪郭形状に切断して植物柄シートにする切断工程と、この切断工程と前記透明樹脂浸透工程を経て該切断工程で形成された植物柄シートを曲げて、立体的な葉や花卉に成型する成型工程とを含むことを特徴とする造花の作り方。

10

【請求項 2】

植物描き工程は不織シート材の両面に植物柄を印刷や転写あるいは描いたり染めて描くことを特徴とする請求項1記載の造花の作り方。

【請求項 3】

切断工程は透明樹脂が浸透された不織シート材を加熱加圧して薄く透明に加工した後、植物柄の輪郭形状に切断することを特徴とする特許請求の範囲第1項記載の造花の作り方。

【請求項 4】

成型工程は植物柄を曲げて立体的な葉や花卉に成型するとともに、成型後に酢酸ビニールやアクリル等の透明液体樹脂をコーティングして乾燥させることを特徴とする請求項1記載の造花の作り方。

20

【請求項 5】

アイロン等で熱を加えると容易にとけて成形することができる柔軟性のある不織紙、不織布等の不織シート材に植物柄を印刷や転写、描いたり染めたり、あるいは押し花を貼り付けて描く等のいずれかで描く植物柄描き工程と、この植物柄描き工程後に不織シート材の植物柄の輪郭形状に切断して植物柄シートにする切断工程と、この切断工程で形成された植物柄シートに熱を加えて曲げて、立体的な葉や花卉に成型する成型工程とを含むことを特徴とする造花の作り方。

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は造花の作り方に関する。

30

【背景技術】**【0002】**

従来の造花は紙や布に樹脂材を塗布して、アイロンゴテを用いて固まった樹脂を溶かすように柔らかくして葉や花卉形状に成型している。

【0003】

このため、紙や布は伸びが悪く加工が大変で、より自然に近い形状に加工することが難しいとともに、無理に伸ばすとしわが出たり、折れたり、布目が現れたり、周囲がほつれたりするという欠点があった。

【特許文献 1】特開平 6 - 1 4 6 1 0 4

40

【発明の開示】**【発明が解決しようとする課題】****【0004】**

本発明は以上のような従来の欠点に鑑み、転写あるいは染められた植物柄を簡単に曲げたり伸ばしたりでき、より自然に近い形状の葉や花卉に、簡単な作業で誰でもが容易に成型することができる造花の作り方を提供することを目的としている。

【0005】

本発明の前記ならびにそのほかの目的と新規な特徴は次の説明を添付図面と照らし合わせて読むと、より完全に明らかになるであろう。

ただし、図面はもっぱら解説のためのものであって、本発明の技術的範囲を限定するも

50

のではない。

【課題を解決するための手段】

【0006】

上記目的を達成するために、本発明は柔軟性のある不織紙、不織布等の不織シート材に植物柄を印刷や転写、描いたり染めたり、あるいは押し花を貼り付けて描く等のいずれかで描く植物柄描き工程と、この植物柄描き工程後に植物柄が描かれた不織シート材に酢酸ビニールやアクリル等の透明液体樹脂を浸透させて乾燥させる透明樹脂浸透工程と、前記植物柄描き工程後に不織シート材の植物柄の輪郭形状に切断あるいは前記透明樹脂浸透工程後に透明樹脂が浸透された不織シート材の植物柄の輪郭形状に切断して植物柄シートにする切断工程と、この切断工程と前記透明樹脂浸透工程を経て該切断工程で形成された植物柄シートを曲げて、立体的な葉や花卉に成型する成型工程とで造花の作り方を構成している。 10

【0007】

本発明はアイロン等で熱を加えると容易にとけて成形することができる柔軟性のある不織紙、不織布等の不織シート材に植物柄を印刷や転写、描いたり染めたり、あるいは押し花を貼り付けて描く等のいずれかで描く植物柄描き工程と、この植物柄描き工程後に不織シート材の植物柄の輪郭形状に切断して植物柄シートにする切断工程と、この切断工程で形成された植物柄シートに熱を加えて曲げて、立体的な葉や花卉に成型する成型工程とで造花の作り方を構成している。 20

【発明の効果】

【0008】

以上の説明から明らかなように、本発明にあっては次に列挙する効果が得られる。

【0009】

(1) 柔軟性のある不織紙、不織布等の不織シート材に植物柄を印刷や転写、描いたり染めたり、あるいは押し花を貼り付けて描く等のいずれかで描く植物柄描き工程と、この植物柄描き工程後に植物柄が描かれた不織シート材に酢酸ビニールやアクリル等の透明液体樹脂を浸透させて乾燥させる透明樹脂浸透工程と、前記植物柄描き工程後に不織シート材の植物柄の輪郭形状に切断あるいは前記透明樹脂浸透工程後に透明樹脂が浸透された不織シート材の植物柄の輪郭形状に切断して植物柄シートにする切断工程と、この切断工程と前記透明樹脂浸透工程を経て該切断工程で形成された植物柄シートを曲げて、立体的な葉や花卉に成型する成型工程とからなるので、植物柄描き工程によって、作りたい造花の色や模様をリアルに表現することができる。 30

【0010】

(2) 前記(1)によって、柔軟性のある不織シート材を用いているので、簡単に曲げたり伸ばしたりすることができる。

【0011】

(3) 前記(1)によって、透明樹脂浸透工程によって、しわが出たり、折れたりすることなく、容易に曲げたり伸ばしたりする成型ができるとともに、損傷を効率よく防止することができる。

【0012】

(4) 前記(1)によって、リアルな自然に近い形状や色、模様の葉や花卉を成型することができる。 40

【0013】

(5) 前記(1)によって、不織シート材に透明液体樹脂を浸透させているので、完成した造花も、いつでも好きに表情を変える修正を行なうことができる。

【0014】

(6) 請求項2も前記(1)～(5)と同様な効果が得られるとともに、表面と裏面を印刷や転写あるいは描いたり染めて描くので、よりリアルな植物柄を作ることができる。

【0015】

(7) 請求項3も前記(1)～(5)と同様な効果が得られるとともに、植物柄を薄く、 50

かつ転写や染められていない部分を透明に加工することができる。

【 0 0 1 6 】

(8) 請求項 4 も前記 (1) ~ (5) と同様な効果が得られるとともに、成型後に透明液体樹脂をコーティングすることにより、丈夫な仕上がりになり、かつ転写や染められていない部分を透明に仕上げることができる。

【 0 0 1 7 】

(9) 請求項 5 も前記 (1) ~ (5) と同様な効果が得られる。

【 発明を実施するための最良の形態 】

【 0 0 1 8 】

以下、図面に示す本発明を実施するための最良の形態により、本発明を詳細に説明する。

10

【 0 0 1 9 】

図 1 ないし図 5 に示す本発明を実施するための最良の第 1 の形態において、1 は本発明の造花の作り方で、この造花の作り方 1 は柔軟性のある不織紙、不織布、フェルト等の不織シート材 2 に植物柄 3 を印刷や転写、描いたり染めたり、あるいは押し花を貼り付けて描く等のいずれかで描く植物柄描き工程 4 と、この植物柄描き工程 4 後に植物柄 3 が描かれた不織シート材 2 A を酢酸ビニールやアクリル等の透明液体樹脂 5 に漬け込んだり、筆で塗って浸透させ、自然乾燥や乾燥機で乾燥させる透明樹脂浸透工程 6 と、この透明樹脂浸透工程 6 後に透明樹脂が浸透された不織シート材 2 B の植物柄 3 の輪郭形状に切断して植物柄シート 7 にする切断工程 8 と、この切断工程 8 で形成された植物柄シート 7 を曲げて立体的な葉 9 や複数枚の植物柄シート 7 を組み合わせて花卉 10 形状に成型する成型工程 11 とで構成されている。

20

【 0 0 2 0 】

上記構成の造花の作り方 1 は、柔軟性のある不織紙、不織布等の不織シート材 2 に植物柄 3 を印刷や転写、描いたり染めたり、あるいは押し花を貼り付けて描く等のいずれかで印刷や転写、描いたり染めたり、あるいは押し花を貼り付けて描く等のいずれかで描く植物柄描き工程 4 を用いているので、自然に近い色や形状に柔軟性のある不織シート材 2 に描くことができ、植物柄が描かれた不織シート材 2 A に透明液体樹脂 5 を浸透させる透明樹脂浸透工程 6 や切断工程 8 を用いることにより、十分な強度が得られるとともに、不織シート材部分は柔軟性を保って、曲げたり伸ばしたりできる植物柄シート 7 を得ることができる。

30

【 発明を実施するための異なる形態 】

【 0 0 2 1 】

次に、図 6 ないし図 13 に示す本発明を実施するための異なる形態につき説明する。なお、これらの本発明を実施するための異なる形態の説明に当って、前記本発明を実施するための最良の第 1 の形態と同一構成部分には同一符号を付して重複する説明を省略する。

【 0 0 2 2 】

図 6 および図 7 に示す本発明を実施するための第 2 の形態において、前記本発明を実施するための最良の第 1 の形態と主に異なる点は、不織シート材 2 の両面に一致するように植物柄 3 A を転写あるいは染めて描く植物柄描き工程 4 A を用いた点で、このような植物柄描き工程 4 A を用いた造花の作り方 1 A を行なっても、より自然に近い葉や花卉を形成することができる。

40

【 0 0 2 3 】

図 8 および図 9 に示す本発明を実施するための第 3 の形態において、前記本発明を実施するための最良の第 1 の形態と主に異なる点は、透明液体樹脂 5 が浸透された不織シート材 2 B をアイロン等によって加熱、加圧して薄く加工した後、植物柄 3 の輪郭形状に切断する切断工程 8 A を行なった点で、このような切断工程 8 A を用いた造花の作り方 1 B を行なっても、前記本発明を実施するための最良の第 1 の形態と同様な作用効果が得られるとともに、加熱、加圧することにより、不織シート材 2 部分を薄く、かつ透明にできる。

【 0 0 2 4 】

50

図 10 および図 11 に示す本発明を実施するための第 4 の形態において、前記本発明を実施するための最良の第 1 の形態と主に異なる点は、切断工程 8 と成型工程 11 との間に植物柄シート 7 の裏面に植物柄 3 を転写あるいは染めて描く裏面植物柄描き工程 12 を行なった点で、このような裏面植物柄描き工程 12 を行なった造花の作り方 1C を行なっても、前記本発明を実施するための最良の第 1 の形態と同様な作用効果が得られるとともに、より自然に近い造花を作ることができる。

【0025】

図 12 および図 13 に示す本発明を実施するための第 5 の形態において、前記本発明を実施するための最良の第 1 の形態と主に異なる点は、立体的な葉 9 や花卉 10 に成型した後、酢酸ビニールやアクリル等の透明液体樹脂 5 をコーティングして乾燥させる成型工程 11A を用いた点で、このような成型工程 11A を用いて造花の作り方 1D を行なっても、前記本発明を実施するための最良の第 1 の形態と同様な作用効果が得られるとともに、透明液体樹脂 5 のコーティングによって丈夫に仕上げることもできるとともに、不織シート材 2 部分を透明にすることができる。

10

【0026】

なお、前記本発明を実施する形態以外にアイロン等で熱を加えると容易にとけて成形することができる合成樹脂繊維を含む柔軟性のある不織紙、不織布等の不織シート材を用いることにより、植物柄描き工程 4、切断工程 8、成型工程 11 を行って造花の作り方を行なってもよい。

20

また、植物柄描き工程 4 後に切断工程 8 を行なった後、透明樹脂浸透工程 6、成型工程 11 を行って造花の作り方を行なってもよい。

【産業上の利用可能性】

【0027】

本発明は造花を作る産業や造花の作り方を教える産業で利用される。

【図面の簡単な説明】

【0028】

【図 1】本発明を実施するための最良の第 1 の形態の工程図。

【図 2】本発明を実施するための最良の第 1 の形態の植物柄描き工程の説明図。

【図 3】本発明を実施するための最良の第 1 の形態の透明樹脂浸透工程の説明図。

【図 4】本発明を実施するための最良の第 1 の形態の切断工程の説明図。

30

【図 5】本発明を実施するための最良の第 1 の形態の成型工程の説明図。

【図 6】本発明を実施するための第 2 の形態の工程図。

【図 7】本発明を実施するための第 2 の形態の植物柄描き工程の説明図。

【図 8】本発明を実施するための第 3 の形態の工程図。

【図 9】本発明を実施するための第 3 の形態の切断工程の説明図。

【図 10】本発明を実施するための第 4 の形態の工程図。

【図 11】本発明を実施するための第 4 の形態の裏面植物柄描き工程の説明図。

【図 12】本発明を実施するための第 5 の形態の工程図。

【図 13】本発明を実施するための第 5 の形態の成型工程の説明図。

40

【符号の説明】

【0029】

1、1A、1B、1C、1D：造花の作り方、

2：不織シート材、

3、3A：植物柄、

4、4A：植物柄描き工程、

5：透明液体樹脂、

6：透明樹脂浸透工程、

7：植物柄シート、

8、8A：切断工程、

9：葉、

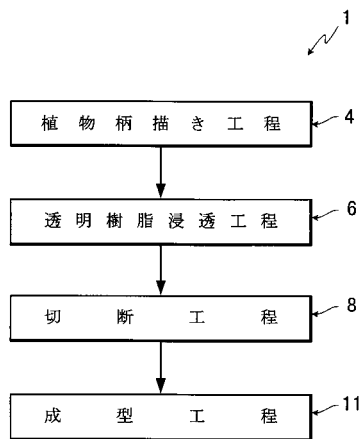
10：花卉、

11、11A：成型工

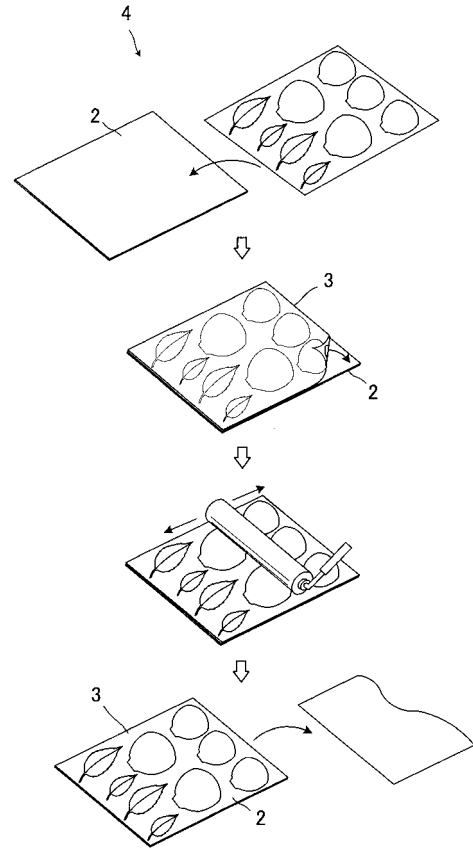
程、

12：裏面植物描き工程。

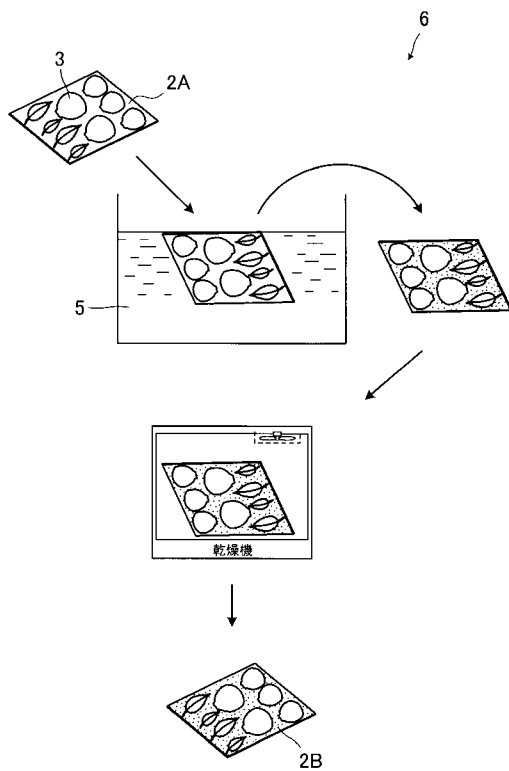
【図 1】



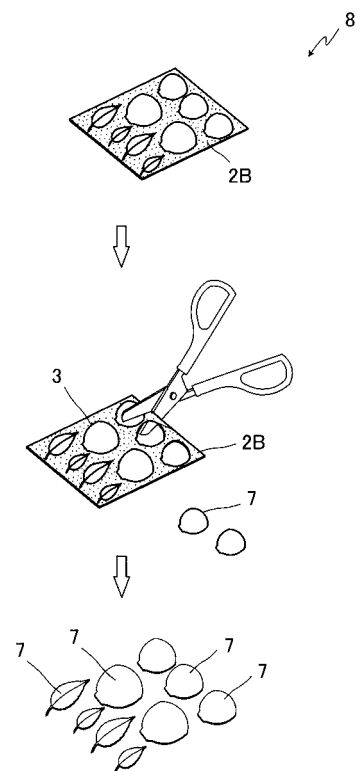
【図 2】



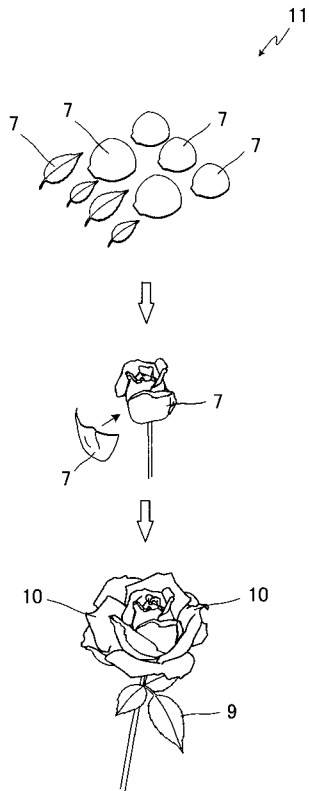
【図 3】



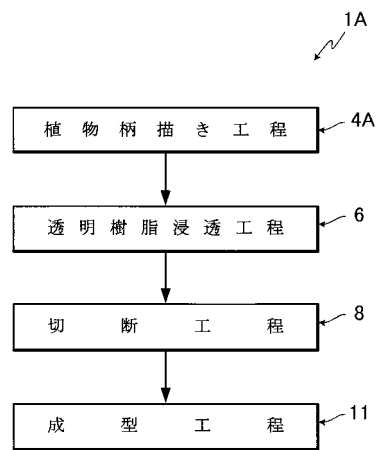
【図 4】



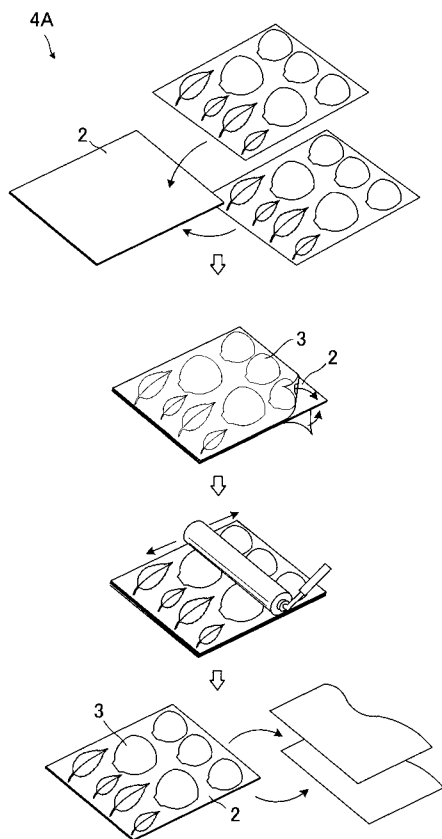
【図 5】



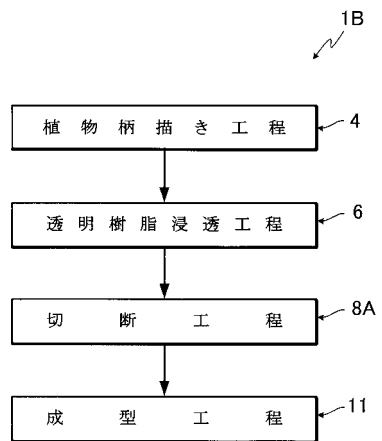
【図 6】



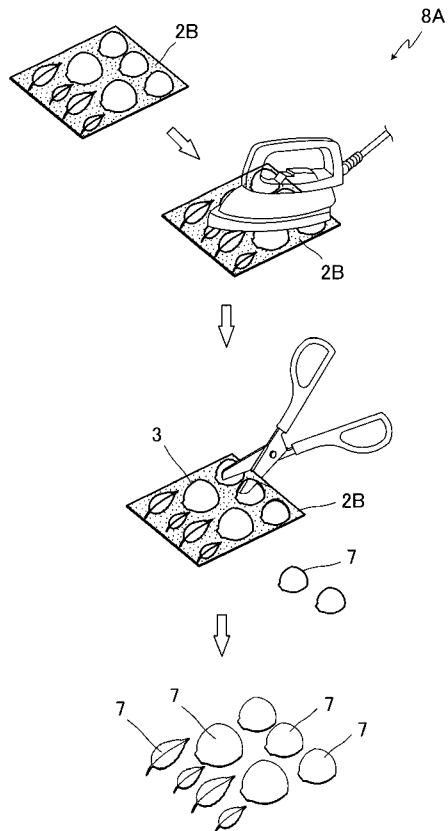
【図 7】



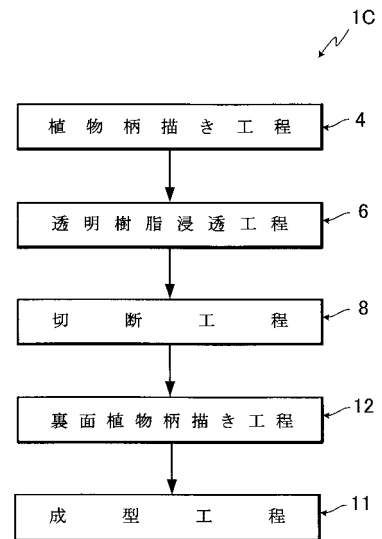
【図 8】



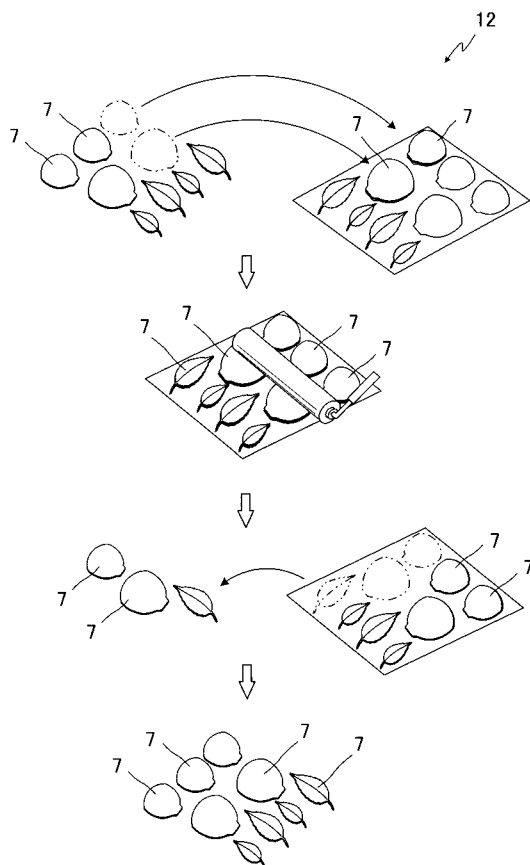
【図 9】



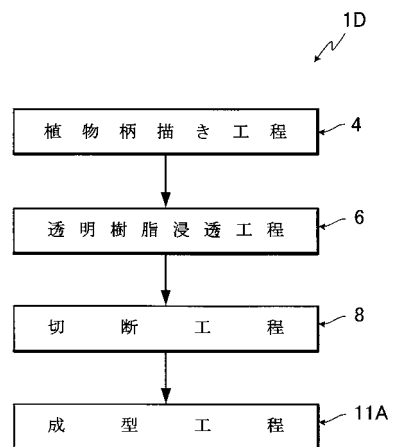
【図 10】



【図 11】



【図 12】



【図 13】

